

〈目的〉 最近、解き洗いにかわって和服のドライフリーニングが盛んに行われているが和服地に付着したシミ除去効果についてドライフリーニングによる影響は明らかでない。そこで我々は、ドライフリーニングによる和服地のシミ除去効果と染色堅牢度に観点をあてて検討した結果、前回スチームスポッター処理が有効であることを報告した。今回は、和服の汚れ防止として撈水撈油加工(スコッチガード)をほどこした和服地の利用が多いのでスチームスポッター処理を中心に撈水撈油加工の効果を検討した。

〈方法〉 試料布として市販の和服地一越ちりめんを用い、撈水撈油加工をほどこした布(以後処理布、B布とする)とほどこさない布(未処理布、A布とする)について、塩化ナトリウム汚染布を作製した。これらの汚染布について①スチームスポッター処理(スチーム噴射時間3水準、噴射口高さ2水準)、②ブラッシング処理(摩擦圧3水準、布の摩擦方向2水準)などを行い、シミ除去率、ハンターの色差(4E)、光沢度、拡散反射率、表面粗さなどを測定した。

〈結果〉 ①スチームスポッター処理ではA布、B布いずれもシミ除去効果は高く、色差はB布の方が小さかった。②ブラッシング処理ではA布、B布いずれも摩擦圧が大きくなるとシミ除去効果は高くなるが、かなりの脱色があり色差にも若干の変化がみられた。表面粗さを測定した結果はA布、B布いずれも布のたて方向摩擦の方がよこ方向摩擦より小さかった。③光沢度及び拡散反射率はスチームスポッター処理、ブラッシング処理いずれにおいてもA布、B布ともはっきりした傾向はつかみにくい結果であった。